

学校評価3種アンケートの結果から

令和4年度の学校評価アンケート3種（児童・保護者・教職員）の結果についてご紹介いたします。今回の回収率も81.0%と昨年度同様、高回収率となりました。保護者の皆様のご理解とご協力に深く感謝しております。アンケート結果については、1月下旬の年度末反省会議において今年度の成果と課題、次年度の改善の方向性を検討しました。今後、3月の学校関係者評価委員会でPTAや地域の方々からご意見をいただき、次年度の学校経営方針と具体的改善の方策に反映させていきます。ご家庭や地域の皆様におかれましては、今後いろいろな機会にご意見やご助言をいただければ幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。（昨年度との比較は裏面、自由記述の内容は2枚目に掲載しています。）

① 成果として捉えること

No.	評価項目	児童	保護者	職員
1	授業で学習が分かるようになった（工夫）	☆ 89.6%	☆☆ 96.4%	☆☆ 100%
5	学校に行くのが楽しい（支援）	☆ 82.7%	☆ 83.3%	☆☆ 100%
6	困ったときに先生が相談にのってくれる	☆☆ 92.2%	☆☆ 90.5%	☆☆ 100%
8	進んで外遊びや体力づくりをしている	☆ 80.4%	79.2%	☆☆ 100%
9	小中連携で中学校への意欲が高まる(6年)	☆ 84.2%	☆ 85.7%	☆☆ 91.7%
11	気持ちのよい挨拶・正しい言葉遣い(定着)	☆ 84.4%	☆ 86.3%	☆☆ 100%
12	学習や生活のきまりを守る(指導)	☆ 85.3%	☆ 89.7%	☆☆ 91.7%
13	道徳で自分の考えをもつ(工夫・連携)	☆ 89.6%	☆☆ 94.4%	☆☆ 91.3%
14	朝食を食べ・給食は量を考えて食べる	☆ 89.1%	☆☆ 90.7%	☆☆ 91.3%
15	学校・学級がよくなるように考え行動する ／保護者及び職員間連携に努める	☆ 79.8%	☆☆ 93.0%	☆☆ 95.8%

（☆；4又は3の評価の割合が全体の8割以上 ☆☆；同9割以上 網掛け；昨年度より上昇）

- 児童アンケート結果・保護者アンケート結果ともに「⑥先生が相談にのってくれる」と答えた割合が90%を超えました。また、「①授業が分かる」「⑮道徳教育」も児童・保護者とも高評価でした。次年度以降も組織的な指導体制づくりを進め、学年・学級に関わらず「みんなでみんなを」大切に指導し、子供たちのよさに目を向けて、児童一人一人の自己有用感や自己肯定感を高めていきます。

② 課題として捉えること

No.	評価項目	児童	保護者	職員
2	家庭学習（学年×10分+10分）の取組	★★ 32.6%	★★ 21.7%	0.0%
3	自分にはよいところがある（自信付ける）	★★ 25.8%	7.4%	4.3%
4	苦手なことがある友達を助けている	★★ 22.0%	★ 11.8%	8.3%
5	学校に行くのが楽しい（支援）	★ 17.3%	★ 16.7%	0.0%
7	メディア使用のきまりを守っている	★★ 27.3%	★★ 37.5%	8.5%
8	進んで外遊びや体力づくりの取組	★ 19.6%	★★ 20.8%	0.0%
10	たくさん本を読む（読書習慣づくり）	★★ 25.2%	★★ 30.7%	0.0%
11	気持ちのよい挨拶・正しい言葉遣い(定着)	★ 15.6%	★ 13.7%	0.0%
13	学習や生活のきまりを守る(指導)	★ 14.7%	★ 10.3%	8.3%
15	学校・学級がよくなるように考え行動する ／保護者及び職員間連携に努める	★★ 20.2%	7.0%	4.2%

（★；1又は2の評価の割合が全体の1割以上 ★★；同2割以上 網掛け；昨年度より減少）

- 「⑦メディア使用のきまりを守る」で低評価（1・2）の割合が、児童27%、保護者37%と最も低い数値でした。SNSに関して、依然として課題ですので、今後も指導を充実させるとともに、チャレンジデー・ノーゲームデー等のアウトメディア活動に取り組みながら、体力づくり・読書活動についても推進していきます。
- 「②家庭学習の取組」が低評価の児童は32%と多かったです。『家庭学習がんばろう週間』の取組で、工夫した家庭学習をやってくる児童が増えてきたことも数字に表れない事実です。この取組をご家庭と連携して進めていくことで勉強がわかったり、自分に自信を付けたりできる児童を育てていきます。

令和4年度 苫小牧市立若草小学校学校評価3種アンケート集計結果（昨年度との比較）

	児童	保護者	教職員
授業で学習が分かるようになった	89.6% (-0.8)	96.4% (+0.4)	100% (±0)
家庭学習（学年×10分+10分）の取組	67.4% (-7.1)	78.3% (+1.8)	100% (+9.1)
自分にはよいところがある	74.2% (-0.3)	92.6% (+4.4)	95.7% (-4.3)
苦手なことがある友達を助けている	78.0% (+0.5)	88.2% (-0.1)	91.7% (+23.5)
学校に行くのが楽しい	82.7% (-2.9)	83.3% (-1.1)	100% (±0)
困ったときに先生が相談にのってくれる	92.2% (+4.4)	90.5% (-0.6)	100% (±0)
メディア使用のきまりを守っている	72.7% (+6.6)	62.5% (-2.0)	91.5% (+0.6)
進んで外遊びや体力づくりの取組	80.4% (+6.6)	79.2% (+3.4)	100% (+9.1)
小中連携で中学校への意欲が高まる(6年)	84.2% (-5.1)	85.7% (-0.4)	91.7% (+9.9)
たくさん本を読む（読書習慣づくり）	80.4% (-5.2)	79.2% (+8.6)	100% (±0)
気持ちのよい挨拶・正しい言葉遣い	84.4% (-2.3)	86.3% (-0.8)	100% (+0.5)
学習や生活のきまりを守る	85.3% (+0.1)	89.7% (-1.0)	91.7% (+0.8)
道徳で自分の考えをもつ	89.6% (-0.1)	94.4% (-2.6)	91.3% (+18.6)
朝食を食べ・給食は量を考えて食べる	89.1% (-2.0)	90.7% (-0.9)	91.3% (-8.7)
学校・学級がよくなるように考え行動する ／保護者及び職員間連携に努める	79.8% (-8.4)	93.0% (+1.4)	95.8% (-4.2)
外国語の授業は楽しい・効果的である	88.9% (-7.3)	88.8% (-4.5)	100%

令和4年度 3種アンケート 上位グラフ

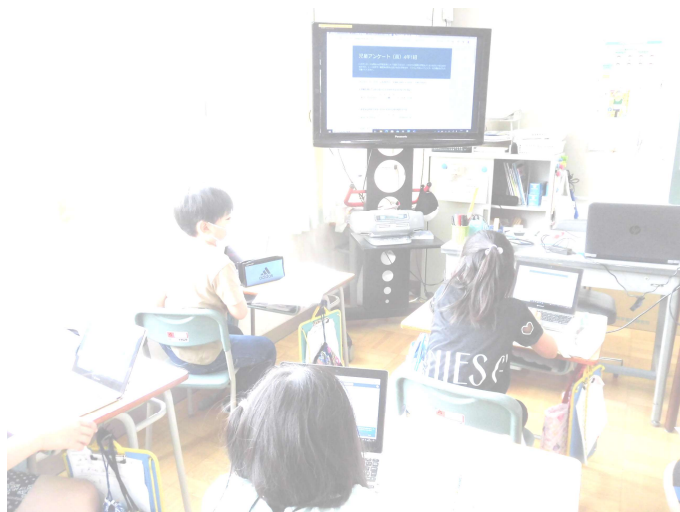


学習面（宿題・家庭学習等含む）

学校での学習に関して

興味あるものは身に付けていると思うが、苦手な教科はいまいちだと感じます。／本人の速度もあるかと思いますが、授業が早くて、わからないと言っている時があります。／支援級通級のため、息子の理解力に合わせて無理のないように進めていただいているのかなと感じます。／カバンが重い問題を今以上に改善して頂きたい。時間割の工夫や教科書を預けるなど、宜しくお願いします。／（外国語で）簡単な単語、挨拶は覚えてもよいかと思います。／まずは母国語である日本語をしっかり覚えてもらいたいです。

【本校では『分かる授業・できる授業づくり』を経営の重点に掲げています。その目標に向かって個に応じた指導と協働的・対話的な指導を効果的に組み合わせたいけるよう教職員の研修を進めています。ICT(タブレット端末)の活用もその一つです。進み具合が早いと感じているお子さんや、お子さんの学習の効果が十分でないと感じられる場合は早めに担任へご相談ください。担任だけではなく、管理職をはじめ学力向上コーディネーター・特別支援教育コーディネーター等と連携し、組織的に対応していきます。また、外国語については学習指導要領に定められた内容を実施しています。学習の中での話す・聞く・書く等の活動を通して、国語力を高めていきます。学習用具の持ち帰りについても、次年度に向けた方策を現在話し合っているところです。こちらも学校としての考えがまとまり次第、お知らせします。】



家庭学習に関して

帰宅が遅いためやる事が多く時間もなくて勉強は嫌いなため毎日嫌々仕方なくしているので身になっていない印象／宿題などもっとあった方がよい／「やった」

と言っているが、それよりも遊びが優先です。／家庭学習強化週間が終わると、終わったからもうやらない！と言われてしまいます。毎日宿題を出してもらっていますが、それ以外はやりたがりません。なので、大変かと思いますが、宿題を出していただいているのが有り難いです。／学習の時間が短いと思うので、ノーゲームデーやチャレンジデーで学習課題など増やしてほしい。

【家庭学習について、忙しい中でのご協力、ありがとうございます。学校では、家庭学習のよい取組を児童間で交流したり、『家庭学習がんばろう週間』等の取組をとおした啓発運動を行ったりしています。今後も発達段階に応じた取組をしていきますが、お子さん一人一人の得意・不得意や興味関心等の個性の差もあります。宿題の量についてはそれらも考慮しながら設定しています。足りない分は『家庭学習の手引き』を参考にしながら根気よくほめ、時には一緒に向き合いながら、家庭学習の取組にご協力願います。お子さんのことをよく理解されているのは保護者の皆様です。】

学校生活（自分自身・友達・すずらん学級との交流）

お子さん自身について・友達との関わりについて

悲観的な部分もあり人付き合いがあまり上手くないので本人がどう思っているかわからない。／下級生の面倒を見ていると思います。

【得意なことがたくさんあるのに自分に自信がもてないということについては若草っ子の課題の一つです。学校でもお子さんの努力や変容を認め、ほめていく指導を続けていきますので、ご家庭でもお子さんのよい所を声に出して教えてあげてください。身内だと恥ずかしいかもしれませんが、続けることで自分の長所に気付いていくはずで。また、異学年の児童と仲良く関われる子が多いことも若草っ子の特長です。次年度も意図的に交流機会を設定していきます。】



学校生活（メディア活用・体力づくり・読書活動）

学校生活に関して

最近は学校が楽しいと言っています／学校に行くのは楽しみにしていますが、クラスが騒がしい時があったり校長先生がクラスに來たりしている事に疑問を持っているようです。／特に困ったり悩んだりした事ないですが、小さな事で迷った事があった時に相談してごらんと伝えてみた所、どうせ話しても…と諦めている時はありました。／先生が、「おかわりする人いないよね？」と食べる前に言われるようでおかわりしたら駄目だと思っているようです。／給食のメニューによって食育されていると思います。おかわりも率先してさせてくれていて本人は満足なようです。

【学校に楽しく登校できることは、何よりもうれしいことです。全ての児童が楽しく元気に登校できるよう、職員間で連携しながら組織的に学校経営に当たっていきます。また、校内の様子や学級の様子を理解する一環として、校長・教頭・学力向上コーディネーター・特別支援教育コーディネーター等が不定期での校内巡回を多く取り組んでいることも若草小学校の特色の1つです。その中で、状況に応じて校長以外にもいろいろな職員が教室に入ることは日常的にあります。『みんなで みんなを』育てていく若草小学校であるために、今後も組織的に教育活動を推進していきます。給食指導等、他の業務についても統一感を持った取組ができるよう改善していきます。】

特色ある教育活動に関して (アウトメディア・体力づくり・読書活動等)

(メディア活用について)

チャレンジデーがあることで自分で意識して守ることができています。／親も反省しています。あまり守られていません。

(体力づくりについて)

できなかった縄跳びが少しずつですができてきています／もっとやって欲しいです

(読書活動について) もともと本が好きで、図書室から借りられるときは、喜んでみえています／図書の先生の工夫のおかげで本を借りる事に興味があるようです。／読書よりもアニメ、動画が主流です。親としても本は読んでもらいたいです。／

【メディア活用は課題の一つです。時間もそうですが、ご家庭でお子さんの利用状況（どんなアプリやゲームで、誰と、どんな内容）知っていますか？この改善が体を動かす時間や読書に向かう時間にもつながりますので、ぜひ、進級前にテレビや動画視聴も含めたメディア利用の約束を、ご家庭でつくってください。】

きまりを守る態度や挨拶について

家庭では学校との約束だからと伝えているのでとても助かる場面があります。／曾祖母の家の校区の小学生

はすれ違う人みんなに挨拶をしています。ぜひ取組などを見習って頂きたいです。／生活委員をしていて、あいさつ運動の時には責任感を持ってやろうとしていました。

【きまりを守ることはお子さんの安全で・安心で・安定した暮らしを形成する1つです。若草っ子のきまりや夏・冬休みのきまりを確認していただき、学校・家庭・地域と同じスタンスで児童の指導にあたっていきたいものです。ご理解とご協力をお願いします。挨拶については、東中学校・東小学校と合同で挨拶運動を実施するような取組等の成果もあり、この1年見ていて徐々に改善に向かっている印象があります。地域での挨拶については、大人もモデルを示していくことが子供たちの行動につながっていくはずですので、ぜひ、保護者や地域の皆様からも子供たちへ挨拶を投げかけてください。】



家庭との連携について

学校側からのケガなどした時の連絡がないことが多い。／時に決め付けや先生の一方的に感じる時がありまして、連携は努めていないと感じます。

【けがに関する意見を受け、若草小学校では、早速家庭との連絡カードを作成しました。保健室・担任・家庭をつなぐ架け橋です。これらも使いながら家庭との連携の密に努めていきます。また、保護者や児童の納得が得られるよう、説明努力に努めていきます。】

